



# 学校だより



令和3年5月25日  
佐渡市立前浜小学校・前浜中学校 No. 92  
〒952-3541 佐渡市水津858  
TEL 0259(29)2313 小：E-mail [maehama-es@sado.ed.jp](mailto:maehama-es@sado.ed.jp)  
中：E-mail [maehama-js@sado.ed.jp](mailto:maehama-js@sado.ed.jp)

## 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて

前浜中学校 校長 伊藤 彰

先日、中学校で「さかなのなみだ」を資料に用いた全校道徳の授業がありました。

メジナは狭い水槽に入れると、必ず1匹を仲間外れにして攻撃してしまうのですが、広い海ではこんなことは起こりません。これは、学級や学校といった狭い人間関係の中で起きてしまういじめや差別の本質を表しています。狭さは、空間的なものだけでなく、価値観や個性の自由さえも見えなくしてしまいます。狭い人間関係や自分の間違った価値観にとらわれず、もっと広い世界や考え方に目を向けてみましょう、という資料でした。

子どもたちは、授業後に自分自身の学びをしっかりと振り返り、次のような感想を記述していました。

- ・この学校には（いじめは）ないけど、世界中のどこかでいじめを受けている人がいると考えると、とても悲しい。私はいじめがなくなるように、日頃からみんなと仲良くできるように協力し、思いやりの心をもつように心掛ける。
- ・いじめをするのは、ストレスや自分の気持ちを強くもっていたいからだと分かった。どんなところでもいじめは起こるので、気を付けていたい。

現在、道徳科では、教材の登場人物の判断や心情を自分事として考える授業、教材にある問題を発見し解決していく授業、体験的な学習からも深く学ぶ授業等が多数実践されています。このような学習はすべての教科等でも行われ、主体的に問題を発見し、考え、友達と議論を深める多面的・多角的な学習が広がっています。

なぜ、このような主体的・対話的で深い学びが大切なのでしょうか。

実は、日本は古くからこのような学びを大切にしています。室町時代に佐渡に流刑となった世阿弥の父であり能の創始者である観阿弥は、著書『風姿花伝』で、「能を演じる者は、演じている自分を頭上から常に見つめられるものでなければ大成しない」と述べています。自分自身を見つめている「もう一人の自分」を意識することを心理学では、「メタ認知」といいます。主体的・対話的で深い学びという学習を支える力が、この「メタ認知能力」と考えることができます。

- ・自分にとって今、何が問題となっているかを明確に理解できる能力
- ・問題の解決法を予測し、具体的な解決策の計画を立てる能力
- ・目標と結果を予測し、方策の続行や中止を柔軟に判断する能力

などが、「メタ認知能力」です。

前浜小中学校では、主体的に自分を見つめ、粘り強く考え、友達や先生と話し合いながら、深い学びが生まれる魅力的な授業を実践していきます。時々、「今日は、学校でどのような学習をしてきたのか。」お子さんに聞いてみてください。そして、来月12日（土）の学習参観日には、もう一人の自分と学習を進めているお子さんの様子を、是非とも間近でご覧ください。

## 上手にできた田植え体験！

5月7日（金）に保護者や地域のボランティアの皆様にご協力いただき、全校児童で田植え体験を行いました。

まず、はじめにJAの田口さんに苗の植え方を教えていただきました。その後、横一列に並んで田んぼに入り、田植えを行いました。JAの方やボランティアの皆様にご協力いただきながら上手に田植えを行うことができました。



## 大活躍！！佐渡市中学校陸上競技大会！

5月14日（金）、佐渡市陸上競技場で市内中学校陸上競技大会が行われました。選手一人一人が、自己ベストの更新を目指して精一杯力を出し切りました。



入賞者 砲丸投げ 4位 8.82m Y・Hさん  
1年100m 3位 15.41秒 S・Sさん  
1年走幅跳 3位 3.58m S・Sさん

### 【スクールカウンセラーの紹介】 真子 紘子さん

前浜小学校・中学校には5年ぶり3回目の勤務です。児童・生徒の皆さんの学校生活が、より楽しく充実したものとなりますよう、精一杯お手伝いさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

### 校内の消毒に感謝！！

コロナウイルスの全国的な感染拡大に伴い、引き続き感染防止対策や校内の消毒が重要となっています。校内の消毒については、4月からは岩見信介様が行ってくださっています。子どもたちが安心して学習できる環境の確保のために毎日ご協力いただいております。